

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	4 市民の防災・救急力の充実	② 施策番号	1407
③ まちづくりの方向〔政策（章）〕	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち		
④ 基本施策〔施策大（節）〕	1 災害や事故に対してその被害を最小化できる安全なまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 消防・救急体制の充実		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
総合政策部	危機管理課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

① 施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	泉南市民
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	積極的に訓練指導等を行い防災意識と行動力を高め、消防・救急救助体制の充実を図る。
③ 環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	大規模な災害が発生した場合、それらの災害による被害等の教訓に基づき、必要に応じて国等による防災対策の見直しが行われている。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方
①	防災・減災活動等出前講座	回	防災・減災活動等出前講座の実施により、防災・減災の考え方を正しく理解し、適切に実践することによって、被害を最小限にすることは可能であり、その結果市民の防災・救急力の充実が図られる。
	計算式		
②			
	計算式		
③			
	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	防災・減災活動等出前講座	回	目標値						
			実績値	230	232	174			
			達成率						
②			目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費（千円）			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	泉州南消防組合参画事業	防災・減災活動等出前講座	回	232	174	—	901,870	843,667	847,357	A	イ c	○
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						901,870	843,667	847,357			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	災害時の地域における防災活動の重要性と必要性は、過去に発生した大規模災害からも実証されており、特に発災初期期の共助については地域住民の命を守るという対策に直結する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	自助・共助の意識の向上
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	市民、地域団体らが、それぞれ自助・共助・公助の役割分担を認識し、効果的な防災対策が可能となるよう施策は適切に行われている。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	概ね適正であると考えている。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	防災・減災活動等出前講座の実施は、市民の防災・救急力の充実強化に直結するものと考えており、今後の大規模災害の発生を想定した場合、不可欠な取組であると考えている。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	泉南市内の地域コミュニティ、自主防災組織等に対して防災・減災活動における出前講座を開催し、防災意識と行動力を高め、平時から大規模災害時における相互協力体制を確立できるよう努める。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	防災・減災活動等出前講座の実施に対し消極的な地域に対して、積極的な実施に向けた啓発を行う。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	講座を受ける側・主催する側の両者が、参加・開催しやすい方法について検討する。
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	近隣市町の先進的な取り組み等を調査研究し、より充実した実施方法を検討する。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	防災・減災活動出前講座の開催により施策達成に向けて適切に取組が行われている。 引き続き泉州南消防組合と連携し、各種講座の開催による市民の防災、救急力の充実に向けた取組を進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある